

荒立神社

高千穂町三田井667 ☎ 0982-72-2368



芸能と縁結びに御利益があるとされる神社。御祭神のサルタヒコノミコトとアメノウズメノミコトが結婚されたとき、周りの荒木で急いでお宮を建立したため、「荒立宮」と名付けられたといわれている。

本殿は「神明造の平入り」で屋根に曲線を持たない。拝殿、本殿共に鯉木5本と外削ぎの千木が見られる。



ニコモ見どころ

境内の板木

本殿後ろの神漏岐(かむろぎ)山にある「干支板木」「未来板木(2ヶ所)」そして、拝殿前の「合格板木」「七福徳寿板木」は心を込めて力強く7回打つと願いが叶うと伝えられている。

天岩戸神社

高千穂町大字岩戸1073-1 ☎ 0982-74-8239



アマテラスオオミカミがお隠れになった天岩戸をご神体としてお祀りする西本宮、岩戸川の対岸には、アマテラスオオミカミをお祀りした東本宮がある。

拝殿(上写真)は伊勢神宮で知られる「神明造」で昭和61年に完成した。現在は神楽殿となっている元本殿(右写真)は、明治5~6年にかけて建立された貴重な建物で、高千穂町内には珍しい「権現造」。



権現造

神秘の天安河原

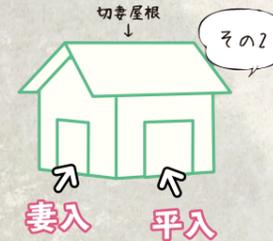


ニコモ見どころ

西本宮の上流には、アマテラスオオミカミが天岩戸にお隠れになった際、八百万の神々が集まり相談されたといえられる洞窟「天安河原」がある。

つまいり ひら入り 妻入と平入

長方形を半分に折ったような「切妻屋根」の棟木に対して、平行か垂直かで呼び方が違う。



かつおぎ ちぎ うちそ そとそ 鯉木と千木の内削ぎ・外削ぎ



棟木の上に並ぶ鯉節のようなものが鯉木。端にあるものが千木で本数や削ぎ方には神様の性別が関わっているなど諸説ある。

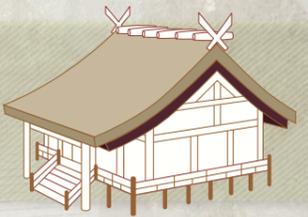
権現造 -ごんげんづくり-

日光東照宮に代表される様式。多くは本殿と拝殿の間を「石の間」と呼ばれる空間で繋いでいる。江戸時代に徳川家を敬ったことから、全国的に広まった。



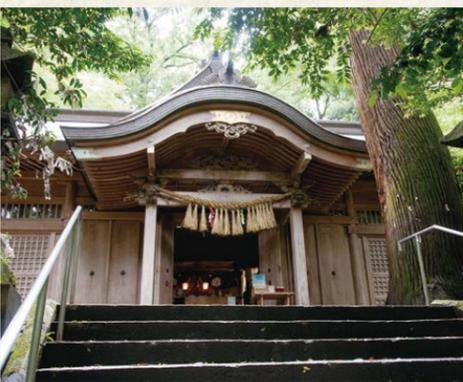
流造 -ながれづくり-

寺院建築の影響を受けて切妻屋根が流れるように添って前に伸びた様式。全国的に見られる。



神明造 -しんめいづくり-

もっとも古い形の寺社建築様式のひとつ。切妻造で平入り。奥行きより横幅が広く、伊勢神宮正殿が代表的な神社である。



本殿は「三間社流造の平入」。300年の歴史があり、荷車を引く人や、物語調などの珍しい彫刻が施されている。

勝守初穂料 500円



榎觸神社

高千穂町三田井713



榎觸神社が鎮座する「くしふるの峰」は、ニニギノミコトが三種の神器を奉戴し、この国を治めるために天降りされた聖地とされている。古くは「榎觸峰」をご神体として祀っていたが、元禄7年(1694年)に社殿が建立された。古来より「武神」としての信仰も厚い。



ニコモ見どころ

天孫降臨の際、タケミカツチノミコトとタケミナカタノミコトが行った力比べが相撲のルーツと言われており、秋の例祭では神事相撲が奉納される。神事の際や、年配の方は古代の「角力(すもう)」という書き方をすることも多い。



高千穂神社

高千穂町大字三田井1037 ☎ 0982-72-2413



主祭神は高千穂皇神(タカチホスメガミ)と十社大明神(ジッシャダイミョウジン)。国家鎮護の為に建てられ、高千穂郷八十八社の総社として、農産業・厄払い・縁結びなど、広く信仰を集めている。



ニコモ見どころ

国の重要有形文化財
社宝でもある鉄の狛犬

本殿西の妻部には「藤棚」と「猿」や「狩人」と「狩られるイノシシ」というような他ではあまり見られない珍しい彫刻が見られる。本殿が大きく、高さもあるから、じっくりと散策して発見するのも楽しみのひとつ。



本殿は「五間社流造の平入」。ニニギノミコトを主祭神としていたことから、千木は「外削ぎ」で造られたと考えられる。鯉木は9本あり、造りも大きい。国の重要文化財に指定されている



【神楽守】
初穂料 500円

◀ 薄いカード型で定期券や財布に入れ身に付けることができる。